

定期利用団体紹介



ミモザ押花クラブ

「ちた押し花の会」の1グループとして、ふれあいプラザの会議室1で、毎月第3火曜日に7人の会員が押し花の活動をしている。

クラブ員が作った作品は、ふれあいプラザ祭の後、佐布里緑と花のふれあい公園梅の館での作品展にも展示している。



ふれあいプラザ祭で展示した作品を、1階のウイズライブラリーで、9月15日まで展示しました。



「ミモザ押花クラブ」の名前の由来は、クラブを立ち上げる時、ミモザという花を初めて知って、珍しい花だったため、名付けられました。初めは、八幡公民館で活動していましたが、ふれあいプラザがオープンし、エレベーターがあり駐車場が広くて便利なため、活動場所を変更しました。花好きの人が集まって、自分で育てた花を押し花として残しています。クラブ員は、講師のアドバイスを聞きながら、テーマや型紙に添って押し花を置いたり、自由に作品を作ったりしています。

これからも楽しみながら、心豊かになるように、人との輪を大切にしていきたいですね。

楽しみながら人との輪を大切に



■インタビュー
ミモザ押花クラブ講師

しんかい のぶえ
新海 伸江さん



■会員インタビュー

木原 宏子 (きはら ひろこ) さん 活動歴約27年

花が好きで、押し花の講座の受講生でクラブを作った。自分で育てた花を押し花にして、作品を作るのは楽しい。珍しい野花や野草を採集に行く旅行も楽しい。

浅井 美和子 (あさい みわこ) さん 活動歴3年

亡き母が押し花をやっていて道具があったので、誘われてクラブに入った。自分で育てた花で押し花を作るので、愛着がわく。夢中になって集中してできるところが楽しい。

